



パルのつどい ～みんなで巻き寿司づくり～

2月2日 上野口パル委員会(門真市) 宮前町自治会館 参加20名(うち子ども4名)



できた!!!!
酢飯に使ったのは「べんり酢」。「これいいね～」と写真に収める姿も



おいし～♡



具は他にも梅肉・花しいたけ・高野豆腐・ツナマヨなど



ぎゅっぎゅっ。委員さんもサポートしながら巻いていきます

節分の巻き寿司、お店で買っている人が多いのでは？そこで、自分たちで作ってみよう！とパルのつどいを開催。「普段なかなか巻く機会なんてないから新鮮」「初めて巻くわ」「子どもにも体験させたくて」と大勢集まりました。

皆さん本当に初めて？というくらい上手に巻けたところで、「今年の方角は東北東ですが、今日は節分の前日なので好きな方向いて食べてください(笑)」といただきます。子どもたちも、自分で作った恵方巻きにかぶりつき満足気。「これで家でももう作れるね」とお母さん。みんなでワイワイと楽しい時間となりました。



パルの集い (コモ学習会)

2月19日 枚方中央地域活動委員会(枚方市) 参加27名(うち子ども6名)



多田さん

おいしくて、おしゃれなサンドができました♪



八尋さん



委員さんたちの準備の甲斐もあり、参加者の方からは「今回初めて食べてみて、口どけとおいしさにびっくり」「添加物も最小限、安心して子どもに食べさせられる」など多くの感想をいただき、コモのパンを楽しく知ることができた学習会でした。

「毎日クロワッサン」でお馴染みのコモのパンについて、メーカーの八尋さんと多田さんに教えていただきました。通常イースト菌で発酵させるパンとは違い、コモのパンはパネトーネ種(ダネ)というイタリア北部のコモ湖周辺だけに生息する酵母と乳酸菌が共存の天然酵母を使用。特徴は水分・油脂分・糖分に対する耐用が強く、やわらかな生地で活発に働くこと。このパネトーネ種を使用し、長時間熟成・発酵する製法によって賞味期間35日～365日と長期保存が可能なやわらかく口

毎日クロワッサン 10個
企画回：4月2回



夏場には、冷凍庫で冷やしてアイスサンドするとおいしい♪



AED使用体験講習会

2月7日 遠里小野パル委員会(大阪市) 遠里小野会館 参加13名



ケガや事故・急病などで救急車が到着するまでの間、家族や仲間の命を救うための応急手当について学ぼうと、住吉消防署の松井さんと金子さんに来ていただきました。今回は、救命処置の中でも「AED」に絞ったお話に。

「AEDは、ケイレンして血液を送ることができなくなったり心臓に電気ショックをあてて正常なリズムに戻すために有効です。一刻を争う状況では、処置が1分遅れれば約7～10%で救命率が下がると言われています。その場に居合わせた人がAEDを使うことができれば助かる命はたくさんあるのです、何かあった時に後悔しないように怖がらずに使ってほしい」と松井さん。

参加者は訓練用のAEDを実際に使ってみて、「電気ショックが必要な状態かどうかはAEDが判断してくれるから安心」「近所やよく買い物をする場所なんかはAEDの有無を確認していたらエエね」「知識は多少あったけど実際に体験できて良かった」など、ちよつと自信もついた体験会になりました。



住吉消防署の松井さん

「年齢などを考えたら、AEDを使うのは難しいかもしれないですけど、みなさん達者な口がありますやん。若い人に助けを求めたらええんです。一人の力では難しくても寄ってたかってやれば何とかなるもんです」とアドバイス



リバース工場見学

2月13日 港地域活動委員会(大阪市) 参加13名(うち子ども1名)

CO・OP
やわらかワンタッチコアノン シングル
企画回：毎週企画 130m×6ロール

支援活動にも生かされています
CO・OPコアノンシリーズは、コアノンスマイルスクールプロジェクトとして1パックの購入で1円がユニセフを通じてアンゴラ共和国の子どもへやさしい学校づくりに支援されています



廃棄物ゼロをめざした工場で、古紙から100%パルプのようなリサイクルトイレットペーパーができるまでのようすを見学しようとの想いで開催されました。

大人の身長ほどもある巨大なトイレットペーパーは1人で使用すると450年ほどかかるのお話も。見慣れたコアノンになるまでの工程を見ることができました。

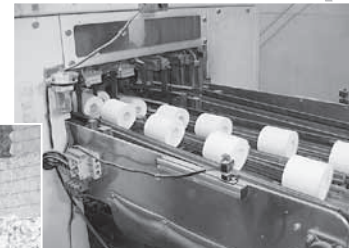
2013年から組合員さんの声に応じて、エンボスの形・強さなどを試行錯誤して「やわらかコアノン」が開発されソフトな紙質へリニューアル。さらに、製造時に発生する廃棄物も自社で再利用する「ゼロエミッション」を目指した地球にやさしい物づくりをされていました。色やイラスト付のものは排水にも色が付



大きいトイレットペーパー
すざーい!

くため、製造はされないそうです。

参加された方からは「巻が長い」「え、家族の人数は減ってますますトイレットペーパーを替えるのが少なくなっただけで、やわらかコアノンを使ってスマイルスクールプロジェクトに1円でも参加しよう」との声もありました。



回収された牛乳パックが置かれている倉庫も見学